

年度 2007 学期 前・後期	曜日・校時 火 1	必修選択 選択	単位数 2
授業科目/(英語名)	日本国憲法(生きた憲法の理論と実践) The Constitution of Japan (Theory and Practice of Our Living Constitutional Law)		
対象年次 1・2年次	講義形態 講義	教室	
対象学生(クラス等) 全学部	科目分類 人文・社会科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員: 新井 信之 /Eメールアドレス:arai@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp/研究室:非常勤講師控室(長崎外国語大学) オフィスアワー:授業終了後			
担当教員(オムニバス科目等)			
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい:本講義は、私たちが直面する社会問題の解決のために、生きた憲法の理論と実践について考える。 授業方法:憲法問題をさまざまな角度から検討するために、ビデオ教材等を活用するメディア・リテラシーの教育手法をとりいれて、私たちの日常生活と憲法とのかかわりについて理解を深めていく。 授業到達目標:現代社会における諸問題を素材として、憲法がそれらとどのようにかかわりをもつか、さまざまな角度から検討を試み、社会生活の中の“生きた憲法”について理解を深めることを目標とする。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要):本講義は、日本国憲法における「統治機構」および「基本的人権」の基本的事項について、授業のねらいを踏まえて解説をおこなう。 第1回 近代立憲主義憲法の基本理念・・・法の支配/人権/権力分立/硬性憲法 第2回 日本国憲法制定の歴史的背景・・・押付け(?)憲法論/民主憲法の継受/日本国憲法の1952年誕生論 第3回 国民主権と民主的な統治システム・・・主権の概念/代表民主制/議院内閣制と違憲立法審査権 第4回 象徴としての天皇の地位・・・天皇制と民主主義/女性には天皇になれるか 第5回 戦争放棄と平和・国際協調主義・・・日本国憲法の平和思想/周辺事態法/テロ防止特別措置法 第6回 生命の権利・自由・・・胎児の人権/死ぬ権利/人工生殖の権利とその限界 第7回 子どもの発達の権利と最善の利益・・・家族的生活の保護/教育を受ける権利/少年司法と更生保護を受ける権利 第8回 情報化時代の表現・言論の自由・・・表現の自由の優越的地位/知る権利/メディアリテラシー 第9回 男女共同参画社会と法の下での平等・・・平等の概念/男女雇用機会均等法/セクハラ/夫婦別姓 第10回 高齢者の人権 三つの自由について・・・国家からの自由(生命)/国家による自由(福祉)/国家への自由(政治参加) 第11回 公開討論会と政治活動の自由・・・選挙活動のルール/公開討論会の意義/市民運動とボランティア 第12回 地方分権と住民投票・・・地方自治の本旨/国民主権と直接民主制/参加民主主義 第13回 司法制度改革と裁判所・・・公開裁判の原則/裁判手続き/裁判員制度 第14回 憲法改正論議の問題点 第15回 授業のまとめ			
キーワード	生きた憲法		
教科書・教材・参考書	テキスト・・・畑・阪本編『憲法フォーラム(改訂版)』(有信堂、2005年) 参考文献・・・畑博行編『現代法学入門』(有信堂、2004年)		
成績評価の方法・基準等	定期試験(60%)、授業中に実施する小テスト・自由研究レポート・授業への積極的参加状況(40%)、授業態度等を総合的に評価する。		
受講要件(履修条件)	なし		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	今日の憲法改正の動きに対して、主権者として責任ある判断をすることのできる知識と法的思考能力を修得することを目標とする。		
備考(準備学習等)	授業は、単なる知識の伝達ではなく、包括的な人間教育の場であることを自覚して参加するよう学生諸君に求めます。		